

# 平成10年度病害虫発生予察特殊報第3号

平成11年1月18日  
高知県病害虫防除所

病害虫名

## イチゴセンチュウ

(*Aphelenchoides fragariae* (Ritzema Bos) Christie)

1. 特殊報の内容 センリョウで本県初発生を確認

2. 初発生が確認された時期 平成10年3月17日

3. 発生場所 土佐市

4. 発生作物 センリョウ

### 5. 発生確認の経緯と発生状況

土佐市波介のセンリョウ栽培ほ場で5~6年前より異常落葉を伴った立ち枯れ症状による枯死株の発生が見られた。平成10年3月17日にほ場から被害葉や吸枝を採取し、細かく裁断し、ベールマン法により抽出したところ、多数のセンチュウが分離された。農林水産省農業研究センター奈良原孝氏に同定を依頼した結果、平成10年9月19日イチゴセンチュウであることが確認された。

県外では、平成6年に静岡県で発生が報告されている。

なお、現在のところ土佐市以外では確認されていない。

### 6. 形態・生態

(1) 長さは1ミリ(0.6~0.9mm)に満たないで細長く、体長に比べ口針が小さい。頭部の体環はキャップ状をしており、中部食道球が球形で大きい。尾端の微小突起が1本であるなどの特徴がある。



(2) センリョウでは吸枝に外部寄生し、そののち葉に内部寄生して異常落葉を起こす。吸枝には10月頃から冬期にかけて寄生が増加し、夏期には吸枝の発生が少ないため、寄生は少ない。また、異常落葉した葉では周年イチゴセンチュウが認められている。



(3)センリョウ以外にイチゴ、ボタン、シャクヤク、ユリ、ベゴニアなどの芽や葉に外部寄生または内部寄生することが報告されている。

## 7. 被害

生育途中に落葉し、株の萎ちよう枯死に伴う生育不良が起こる。落葉が起こる葉では葉柄近くの基部からわずかな褐変が認められ、落葉後に葉脈によって区切られた被害部分が明瞭な葉枯れ症状を呈する。吸枝の頂芽やえき芽の褐変や茎の褐変が見られる。

## 8. 防除対策

1. 落葉した葉をほ場から持ち出し、焼却や埋没などの処分を行う。
2. 発生ほ場では育苗を行わない。
3. 本種に対しての登録薬剤はないが、殺センチュウ剤が有効である。ただし、発生を認めたら農業改良普及センターの指導を受ける。